

ISO/TC46/SC4/WG14 Interlibrary Loan Transactions 出席報告

宮澤 彰

日時：2016-05-10 11:20

場所：ウェリントン，Archives New Zealand, Hukatai

出席者：Leif Andresen(主査デンマーク), Geoffrey Payne(オーストラリア), Juha Hakala(フィンランド), David Reid(ニュージーランド), SC4事務局(フィンランド), オブサーバ：米国, 宮澤(日本), デンマーク, カナダ。

議事：

1. 出席者紹介：

欠席の連絡：Rita Albrecht(ドイツ), Clare Mackeigan(カナダ), Tina Baich(米国), Ed Davidson(英国)

2. 議事次第の承認

N038 Agenda WG14 が異議なく承認された。

3. Introduction

主査からこの会議の目的の説明があった。

1 つは、この会議の出席者に 18626 についての情報を知ってもらうこと、もうひとつは、18626 の改善についての結論を出すことである。

4. Presentation of ISO 18626

主査から 18626 の実装について以下のような紹介があった。デンマークでは、18626 が national union catalog と公共図書館用の 2 つのシステムで実装されている。OCLC と Relais(カナダベースの図書館用 ILL システムベンダ)が、18626 の実装を準備中である。

Juha Hakala が、NCIP (NISO Circulation Interchange : ANSI/NISO Z39.83) と 18626 の関係についてコメント、フィンランドでいくつかのベンダが NCIP を ILL に利用することを検討しているため、NCIP と 18626 の住み分けについて何らかのガイドラインが必要ではないか?主査は、必要性について同意。さらに、18626 の開発時には、NCIP と協力関係を持ち、用語は統一されているし、伝送基盤も同じ方式を前提としている点について言及した。ガイドラインの必要性について合意された。

宮澤は、多くのベンダが OCLC の実装を待っている事を指摘。William Leonard はベンダに対する教育が必要とコメントした。

5. Further development of ISO 18626

主査から，N036 Proposals for improvement of ISO 18626 の紹介。これに基づき，WG メンバーからの改良提案を集め，マイナーリビジョンを用意する。このためのスケジュールが主査から示され，了承された。

6. その他

主査から，明日の SC4 の総会で主査の人気の 3 年の延長が議題にのぼる旨述べられた。

7. 決議の推奨

7.1 Editorial team は 6 月 24 日までに来たコメントをまとめ，8 月 15 日までに WG メンバーに送り 3 週間コメントを求める。

7.2 Editorial team は，11 月 1 日までに案をまとめ DIS 投票用に SC4 事務局に送る。

7.3 7.2 について SC4 での決議を求める。

7.4 NCIP と 18626 に関するガイドラインの作成について editorial team と NISO の NCIP 常置委員会との間で検討を始めるよう指示。

8. 閉会

12:00